

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/
E-mail:gyoren@kagawa-
gyoren.or.jp



JF 高松市北浜町 8 - 25
TEL 087-825-0350
J F 香川漁連 FAX 087-851-0699

「市場出荷マニュアル」を作成

魚価向上のためにも再放流サイズを守ろう！

資源管理型漁業を推進するうえで、魚価向上を検討する場として昨年度「香川県資源管理型漁業流通対策部会」を設置し、市場出荷の際の留意点を検討し漁業者が出来ることのひとつとして、「市場出荷マニュアル」を作成しました。その内容を掲載しますので、漁業者の魚価向上の一助になるよう参考にしていただきたい。

(指導部 振興課)

A . 鮮度保持の注意点

1 . 活魚で出荷する場合

高級魚を活かす。タイ、ヒラメ、アイナメ、オコゼ、アコウ、ベラ、他刺身商材。活かしにくい魚種は避け、元気な魚を選ぶ。スズキは活ける必要はないが、夏場は活かすべき。

メイタガレイはあまり水に入れない。アイナメはすぐ酸欠になる。水を冷やして酸素をかます。

夏場は水温の管理が必要。海水の水温を氷で調節する。

冷水機で冷やした海水を使う。

2 . 活けメで出荷する場合

メたあと水氷で冷やす。

魚は裏側をメる。

切り口は小さく的確にメる（料理したときに頭が落ちないように）。

3 . 氷メで出荷する場合

水氷に漬けすぎない。

水は海水を使う。

4 . 冷やし込んで出荷したら良い物（水氷に漬けて仮死状態にする）

小エビ・アナゴ

B . 箱立て

1 . 魚は表を上。向かって左を頭にして立てる。

- 2 . 小型カレイは裏を上にして立てる（腹の白いところが血が滲んで赤くなる場合がある）。煮付けにしたなら、キズができる。
- 3 . 大・中・小の型をそろえて立てる。
- 4 . 魚は重ねない。
- 5 . まっすぐに伸ばして立てる（特にアナゴ）。
- 6 . 箱は海水で濡らしてから使う。
- 7 . 氷は入れ過ぎて魚に傷がつかないように、魚の上にパラパラと適度に入れる。
- 8 . 魚を乾燥させないようにパチをする（新聞紙を濡らした物でもよい）。
- 9 . 高いものは、少なくとも混ぜないほうがよい。できればグラム数を書いた札を入れる（オコゼとクルマエビ等）。

C . 商品を売るという意識

- 1 . 魚屋はセリの後のことは自分で考えるので、それまでの鮮度保持は漁業者で考えてほしい。
- 2 . 出荷するという事は、商品を売るということ。
- 3 . 同じ魚でも、鮮度、箱立ての仕方によって、セリで評価が異なる。
- 4 . アガリを混入しない。
- 5 . 相場が良いときは多少雑でも高い。安い時ほど手間をかける。
- 6 . 信頼を得ることが重要（鮮度を保持し、量目不足を無くす）。
- 7 . 小さな価値の無いものを出荷すると、価値のあるものまで値を下げる。



自分たちの利益のために再放流を !!



新人職員奮闘記

「石油課にて」

大江 洋輔

“光陰矢のごとし” 私が、香川県漁連石油課に入会して早半年が過ぎようとしています。

本年度より石油課の方でお世話になっております大江洋輔です。以後よろしくお願い致します。

私は、最初漁連への入会が決まった際、おそらくは活きた魚に携わる部署に配属されるものと思っておりました。辞令を頂いたとき「石油課勤務を命ずる」という行を見たときは、正直驚きました。私が石油課に入って一番初めに苦労したのは、2トントラックの運転です。非常に恥ずかしいことですが、私は大学2年の秋に免許を取得して以来約2年半一度もハンドルを握ったことがなく初心者よりも危険なペーパードライバーでした。最初のうちは運転する度に緊張と恐怖感で全身が油汗と冷や汗でビッシヨリになっていましたが、最近では何とか運転にも慣れ、2トントラックでの配達だけでなく4トンの小型タンクローリーの運転も若干できるようになりました。

タンクローリーといえば、私は石油課に入った当初から現場を覚えるために週に一、二度観音寺でのA重油納入作業に同伴しております。これは観音寺港に停泊している底曳網漁船およそ30隻にタンクローリーからホースを伸ばして一隻一隻A重油を注入して行く作業です。今の季節、真夏の炎天下での作業はたっているだけでも倒れそうになりますが、そのような中でも私に仕事を教えてくれる事業員の方々が手際よく作業をこなしているのを見るにつけ、感心すると同時に私自身の体力的、精神的弱さを痛感しました。今後は更なる鍛錬を積み、現場での作業を一人前にできるよう努力したいと思います。

さて、石油課の業務において大変なのは現場だけでなく、事務所での仕事も複雑なもので一朝一夕にいくものではありませんでした。特に苦労しているのは石油製品の価格に関することです。石油製品は油種別に日毎に価格が変動しているのですが仕入単価、売単価は月毎に決定しなければなりません。その月の石油価格が如何に変動するかを勘案して漁連で扱う価格を決定します。リットル当り1円誤っただけで数万円損をするか得をするかという世界で、様々な知識と経験・観察力を必要とするため非常に難しく、やっと石油課業務の概要を掴みかけた

程度の私では未だに手も足も出ませんが、面白そうな業界であるなど最近感じるようになっていきます。

石油課は知力と体力をフル回転させて初めて業務が成り立つところです。時々「石油課の未来は君の双肩にかかっている。」といわれることがあります。今の私では未熟すぎて脱臼してしまうでしょう。これから少しでも早く私の両の肩がどんな重いものにも耐えることが出来るよう、日々精進を重ねていきますので皆様のご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いたします。



漁船に給油している大江君



開催日時 平成 15 年 9 月 28 日 (日)
(10 : 30 ~ 16 : 00)

会 場 サンポート高松

< イベント内容 >

式典行事 (10 : 30 ~ 11 : 30)

大会テーマ、キャラクター、絵画などの入賞者の表彰や子供たちのメッセージを発表します。

海上パレード (11 : 40 ~ 12 : 00)

県警音楽隊の演奏に合わせて地元漁船などによる勇壮な海上パレードを行います。

放流事業 (12 : 00 ~ 12 : 20)

招待者によるタケノコメバルやヒラメなどの稚魚の放流を行います。

関連行事

「ステージイベント」(13 : 00 ~ 16 : 00)

おさかなトークショー、トワイライト JAZZ コンサート、国際交流団体によるステージなど盛り沢山の内容で楽しさ一杯のステージを展開します。

「企画展示コーナー」

大会キャラクター原画展や絵画コンクール作品展、また、水産業や環境保全についての情報発信コーナーなど海に対する理解を深めてもらうコーナーです。

「物産販売・飲食コーナー」

水産物、水産加工品、その他特産の展示・即売を行います。

「おさかなシャトルイベント」

お魚名前当てクイズ、お魚ビンゴゲームなどを行います。

「ふれあい・体験コーナー」

- ・おさかなタッチプール
- ・魚礁お絵かきコーナー
- ・プランクトン観察コーナー

「海の探検隊」(14 : 00 ~ 15 : 00 15 : 00 ~ 16 : 00)

調査船に乗ってプランクトン採集などを行い、帰港後観察します。

「おさかなクイズラリー」

会場 3ヶ所に設けられたクイズに挑戦してもらい、正解者の中から抽選により賞品をプレゼントします。

第 24 回全国豊かな海づくり大会実行委員会

主な行事予定 (9 / 1 ~ 9 / 30)

- | | | |
|----|--------|---------------------------|
| 9月 | 4日(木) | 漁連理事会
かん水組合理事会 |
| | 17日(水) | 漁業技術研修会
のり養殖部門漁業士研究会 |
| | 18日(木) | JF 共済業務研修会 |
| | 26日(金) | 全漁連理事会 |
| | 27日(土) | 香川の食を考える会総会 |
| | 28日(日) | 海づくり大会プレイベント
(サンポート高松) |